

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項

		評価対象期間	平成28年4月1日 ~ 令和2年3月31日		
施設の概要		指定管理の状況			
名称	老人福祉センター福寿苑	指定管理者	名称	社会福祉法人 可児市社会福祉協議会	
所在地	可児市大森347番地2		所在地	可児市今渡682番地1	
設置目的	可児市は昭和50年代から急激な人口増加の時代を迎え、当時は高齢化率が約7%でしたが、来るべき高齢社会を見越すとともに、高齢者に対する健康増進、教養の向上、生きがい支援などを目的として、老人福祉法の規定による老人福祉センターを設置しました。	指定管理期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年4月1日 (2期目)		
		選定種別	公募・非公募	利用料金制	採用(一部・完全)・不採用
供用開始年月	昭和58年4月	業務内容	生活相談、健康相談、機能回復訓練、教養講座、施設の設備・備品貸出、施設の設備・備品維持管理、福寿苑の設置目的を達成するために必要な業務のうち市長の権限に属するものを除く業務		
施設所管部署	福祉部 高齢福祉課				

2. 施設の運営状況

① 利用状況

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館日数	242 日	242 日	241 日	222 日
施設利用者数	30,614 人	30,823 人	29,049 人	27,529 人
1日平均利用者数	127 人	127 人	121 人	124 人

② 自主事業実施状況

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数	153 回	143 回	129 回	119 回
参加人数	1,962 人	2,124 人	1,974 人	1,837 人

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
令和元年度	洋裁教室 全20回	181 人
令和元年度	パッチワーク教室 全22回	214 人
令和元年度	生花教室 全11回	126 人
令和元年度	健康体操教室 全22回	467 人
令和元年度	ヨガ教室 全22回	471 人
令和元年度	民謡教室 全22回	378 人
平成30年度	民謡教室 全24回	83 人

3. 収支状況

① 収入

単位:円

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理料	28,750,000	28,750,000	28,750,000	26,875,999
その他	78,196	80,758	75,264	71,520
収入計 A	28,828,196	28,830,758	28,825,264	26,947,519

② 支出

単位:円

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費	15,857,192	19,752,418	18,239,116	11,293,903
事務費 <small>以下主な項目</small>	7,730,767	8,832,598	8,399,312	8,161,645
水道光熱費	2,727,370	2,698,511	2,439,262	2,271,541
燃料費	1,273,104	1,644,378	1,822,855	1,658,440
委託費	2,120,690	3,020,751	2,077,961	2,299,883
修繕費	103,788	89,106	389,102	453,168
拠点区分間繰入金	156,480	191,970	168,630	72,060
支出計 B	23,744,439	28,776,986	26,807,058	19,527,608
収支 A-B	5,083,757	53,772	2,018,206	7,419,911

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	各種事業や委託業務等について、事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されている。	B	施設職員により駐車場の白線引きや植栽の手入れ等保守管理が工夫し実行されている。 アンケート結果にあるとおり、施設内の清掃がいきわたっており、清潔に保たれている。	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	管理者や事務員、看護師等必要な人員が確保され、情報共有、連携されている。	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	事務所の書庫、書棚に適切に整理保管されている。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	消防や空調等の設備の定期的な保守管理が実施され、また、不具合発生時の対応も適正におこなわれている。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていますか	マニュアルの整備と職員への情報共有ができています非常時の対応計画も策定できた。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	28年時に比べ減少傾向であったが、令和元年度は好調に推移していた(全体としてコロナウイルスの影響もあり減少)	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	平成30年度の途中で民謡教室は終了となったが他の6つの教室は継続して、活動も盛況である。	B	高齢者と地域の小学生との交流、地域の清掃等地域に根差した取り組みがなされている。 コロナ渦の中、利用者数が維持されている。 職員の努力により、利用者満足度が高くなっている。	A
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	施設の雰囲気、設備、職員対応すべて満足度は高い。	A		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	HPや苑内への掲示、区域内のチラシの回覧等により広報できている。	B		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	苦情自体が発生しないよう行き届いた管理がなされている中、苦情発生時の体制整備と、市への報告が適正に実施されている	B		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	過去4年間黒字であり、ほぼ計画通り適切に行われている。	B	収支の把握ができており、良好である。経費節減に努めている。	B
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	適正に実施されている。	B		
総合評価			平成28年度から比べると1教室が減ったことで、事業回数と参加者が減っているが事業の回数も増えており、利用者数は、平成28年時に比べると増加傾向で推移している。年々、設備や機器の不具合が増えてくる中で、維持管理等についても適正に行われていると判断できる。	B	「所見」欄に記載	B
所見	<p>全般にわたり職員の努力が感じられ、利用しやすい雰囲気・体制が確立しており、結果、コロナ渦の中でも利用者が大きく減少することなく利用されていること、また、職員が率先して利用者の対応を行ったり、保守作業を行うことで経費節減に努めている点は大きいと評価できます。</p> <p>地域の小学生との交流や清掃活動等、地域に根差した施設として取り組みを行っていることも非常に良いことです。</p> <p>施設の老朽化もあるが、適切に管理運営がなされており、アンケート結果からもわかるように利用者満足度の高い施設となっており、引き続き、より良い改善をし、満足度を高めたい取り組みを継続してください。</p> <p>ゲートボール場、売店・喫茶店がある施設であり、老人福祉センターと地域とが共存共栄して相乗効果を発揮することで、利用者の増加等につながるよう取り組んでください。</p>					

5. 参考(評価基準)

① 区分別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されていないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準(評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	② 適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	② おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項が
C	① A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	② 適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	① 上記のいずれの評価にも該当しない
	② 改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である